

# 『テーマと概説』 2023年版



4種類

4種類



ミニショベル

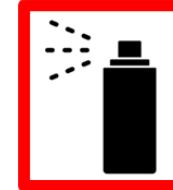
トラクター

ジオラマ制作ワークショップ  
@ヤンマーミュージアム

2023.8.19

# ミニショベル ①砂利スクイ

- ▶ 宅地には上下水道の整備としての土管を埋設する作業がとても重要です。
- ▶ 狭い場所でも、壁際のぎりぎりまで作業ができるヤンマーミニショベルが活躍します。



# ミニショベル ②土管吊るし

- ▶ 宅地には上下水道の整備としての土管を埋設する作業がとても重要です。
- ▶ 狭い場所でも、壁際のぎりぎりまで作業ができるヤンマーミニショベルが活躍します。



# ミニショベル ③河川修復

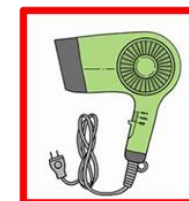
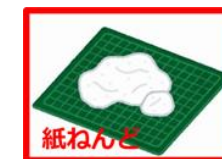
- 氾濫した河川の修復にもミニショベルが使われます。
- 狭い場所でのがれき撤去など、力強く活躍します。



# ミニショベル ④除雪作業

- 道路の除雪にもミニショベルが良く使われます。
- 根開き※が春の訪れを感じさせます。

※冬の終わりに、木の根元だけ雪が溶けてまるく穴が明いたようになること



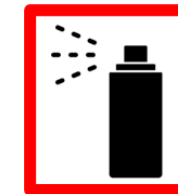
# トラクター ①春起こし

- ▶ 冬に乾燥して固くなった土を、田植前に細かく砕きます。
- ▶ 『ロータリー』と呼ばれる作業機をトラクターの後ろに装着します。
- ▶ 桜が咲くころ（4月ころ）に見られます。



# トラクター ②代掻き（しろかき）

- 田植えのために、土をドロドロにする作業を代かきといいます。
- 代かきとは、水の中で土を砕きながら『かきならす』作業です。
- つつじが咲いたり、葉桜の季節（4～5月）に見られます。



# トラクター ③秋起こし

- 稲刈が終わった後に、田んぼに残ったわらなどをすき込みます。
- わらは土の中で分解され、栄養分となります。
- 紅葉のころ（10～11月）に見られます。





# トラクター ④寒起こし（さむおこし）

- 冬の霜が降りる時期に、畑を耕します。
- 土をかたまりのまま寒さにあてることで、土壌が消毒されます。
- 梅の花と残雪（なごり雪）が見られるところに作業をします。



なごり雪



ジオラマ工房'Y